

だいせん 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



「自分たちの地域は、自分たちで守る」

8月31日、中仙地域の5会場で大仙市総合防災訓練が行われました。訓練は秋田県内陸南部を震源とするマグニチュード8.5の直下型地震が発生し、中仙地域で震度6強の揺れを観測、多くのけが人が出たとの想定で実施。5つの場面でさまざまな訓練が行われ、中仙地域の自主防災組織、地域住民など約1,200人が参加しました。(写真上=中仙市民会館(ドンパル)からの避難訓練。写真左=女性消防団員の指導によりAEDの操作方法と救命講習を受講した)



主な内容

CONTENTS

- | | |
|------------------------|-------|
| ■ 議長に鎌田正氏、副議長に藤田君雄氏を選出 | 2～3 |
| ■ 平成23年第3回(9月)定例会の概要 | 4～5 |
| ■ 4人の議員が一般質問 | 6～7 |
| ■ 「大仙市議会基本条例」を原案可決 | 8～9 |
| ■ 先進地に学ぶ～視察研修レポート | 10～11 |
| ■ 委員会審査のあらまし、請願陳情の結果 | 12～13 |
| ■ 提出された議案と審議結果・編集後記 | 14 |

平成23年 第6回臨時会

議長に鎌田 正氏・副議長に藤田君雄氏

監査委員には高橋敏英議員が選出

10月5日に第6回臨時会が開催され、議案2件を審議し、いずれも同意、原案可決後に議事日程を追加し、正・副議長の選挙と2年任期となっている各常任委員会と議会運営委員会の委員の選任及び大曲広域市町村圏組合など一部事務組合への代表議員や議会選出監査委員が決定いたしました。

議長、副議長選挙は単記無記名投票（現員29名）で行い、議長選は、鎌田正議員（大地の会）27票、佐藤文子議員（日本共産党）2票、副議長選は藤田君雄議員（新政会）17票、佐藤芳雄議員（だいせん会）8票、無効4票となり、議長には鎌田正議員、副議長には藤田君雄議員が選出されました。

また、市長より追加提案された議会選出の監査委員として、高橋敏英議員が全会一致で同意されました。



鎌田 正 議長



藤田君雄 副議長

就任あいさつ

去る10月5日の第6回臨時会において、議長に就任させていただき、誠に光栄で身が引きしまる思いです。同時にその責務の重大さを痛感するとともに今後の議会活動において今まで以上に精励いたす所存であります。

本年は記録的な豪雪、東日本大震災、局地的な集中豪雨、そして稔りの秋を迎え長雨による収穫期の遅れなど、自然災害の多い年であります。高齢化社会となり地域での支え合う心と絆の大切さが再認識されております。また、経済不況による地域経済の低迷、雇用不安など市民生活に大きな影響を与える課題が山積しております。

10月1日より大仙市議会基本条例が施行されました。より開かれた議会を目指し、移動委員会、議会報告会等を各地域で開催し、市民の皆様の声を市議会に反映し、議会が身近に感じられる議会を構築したいと思っております。是非、多数の市民の参加を願うものです。大曲通町地区市街地再開発事業による仙北組合総合病院の移転事業など大事業も控えております。市民の皆様と一緒に安全・安心のまちづくりのために邁進いたします。

市民の皆様のお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第6回臨時会

10月5日(水) 1日間

▽中通線新設工事請負契約の変更について（全会一致で同意）

平成23年第2回定例会において議決を得た中通線新設工事請負契約において、擁壁部の地盤改良に伴い、埋設されていた廃棄物を処分する必要があることが確定したことから、契約金額を増額することについて議決を求めるもの。

契約金額の変更▼1億8,900万円↓2億1,933万3,900円（1,293万3,900円の増額）

変更内容▼①廃棄物処理経費（860立方メートル）1,049万6,700円 ②廃棄物収集運搬経費381万8,107円 ③当初契約に含まれる残土処理費138万907円の減額

工期は予定どおり平成24年3月26日まで

▽平成23年度大仙市一般会計補正予算（第9号）（全会一致で原案可決）

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に8,610万7千円を追加するもの。
歳入▼地方交付税、繰越金、国庫支出金、市債の増額補正
歳出▼消防団員に係る秋田県市町村総合事務組合負担金3,855万5千円、地域の除雪支援に必要な備品購入等に係る経費3,469万8千円、豪雨により被災した国庫補助対象の林道復旧に係る経費551万7千円、児童生徒の安全な通学路確保に係る経費446万9千円、指定文化財等の公開活用のための環境整備に係る経費207万4千円の増額補正等。

▽監査委員の選任について

（全会一致で同意）

大仙市議会議員 高橋敏英氏



埋設されていた廃棄物を確認する

建設水道常任委員

大仙市議会議員一覧（委員会所属別）

◎は委員長、○は副委員長

総務民生常任委員会

総務部、市民部、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項の審査



◎渡邊秀俊
(新政会)



○富岡喜芳
(大地の会)



佐藤文子
(日本共産党)



高橋敏英
(だいせんの会)



本間輝男
(大地の会)



橋村 誠
(だいせんの会)



鎌田 正
(大地の会)

企画産業常任委員会

企画部、農林商工部及び農業委員会の所管に属する事項の審査



◎北村 稔
(大地の会)



○茂木 隆
(新政会)



後藤 健
(まっすぐ大仙)



藤井春雄
(市民クラブ)



小山緑郎
(新政会)



金谷道男
(大地の会)



佐藤芳雄
(だいせんの会)



武田 隆
(大地の会)

教育福祉常任委員会

健康福祉部、教育委員会及び市立大曲病院の所管に属する事項の審査



◎大山利吉
(大地の会)



○杉沢千恵子
(公明党)



藤田君雄
(新政会)



小松栄治
(新政会)



石塚 柏
(大地の会)



大野忠夫
(大地の会)



佐藤孝次
(だいせんの会)

建設水道常任委員会

建設部、上下水道部及び水道局の所管に属する事項の審査



◎竹原弘治
(だいせんの会)



○佐藤清吉
(大地の会)



佐藤隆盛
(市民クラブ)



児玉裕一
(だいせんの会)



高橋幸晴
(大地の会)



橋本五郎
(新政会)



千葉 健
(大地の会)

議会運営委員会

議会運営に関する事項(会期決定及び延長、議事日程、議事進行、その他本会議運営について)



◎小松栄治
(新政会)



○高橋幸晴
(大地の会)



佐藤隆盛
(市民クラブ)



佐藤清吉
(大地の会)



大野忠夫
(大地の会)



渡邊秀俊
(新政会)



児玉裕一
(だいせんの会)



竹原弘治
(だいせんの会)

そのほかの議会構成

【大曲仙北広域市町村圏組合議会議員】鎌田正・杉沢千恵子・渡邊秀俊・佐藤芳雄・大山利吉・橋本五郎・橋村誠・千葉健

【大仙美郷環境事業組合議会議員】鎌田正・藤田君雄・後藤健・茂木隆・石塚柏・金谷道男・高橋敏英・佐藤孝次

【大仙美郷介護福祉組合議会議員】鎌田正・佐藤隆盛・小山緑郎・児玉裕一・本間輝男

【民生委員推薦会委員】大山利吉・杉沢千恵子

【青少年問題協議会委員】石塚柏

【都市計画審議会委員】北村稔・竹原弘治・高橋敏英

【秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員】鎌田正

【議会報編集委員会】議会運営委員会委員が兼務

第4回臨時会

7月11日(月) 1日間

第4回臨時会は7月11日に開催されました。当臨時会は6月23日から24日までに発生した水害を受け、災害見舞金の増額などの見直しを行い、被災された方々に早急に支給するため、条例の改正並びに予算の補正が必要になり招集されたものです。

▽大仙市災害見舞金支給条例の一部を改正する条例(全会一致で原案可決)

6月23日から24日にかけての大雨による水害を受け、この際、災害見舞金について県内他市町村の状況も参考にして、増額等の見直しを行うもの。施行日は6月23日。見舞金の額は次のとおり。全焼、全壊、流失又は埋没▼5万円↓10

万円 半焼、半壊、半流失又は半埋没▼3万円↓5万円 床上浸水又は土砂等のたい積により一時的に居住することができない状態▼2万円↓5万円 床下浸水又は床下への土砂等のたい積▼(新設)2万円

▽平成23年度大仙市一般会計補正予算(第5号)(全会一致で原案可決)

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に3,381万1千円を追加するもの。
歳入▼地方交付税、繰越金の増額補正。
歳出▼災害救助扶助費1,410万円、災害応急対策費1,971万1千円の増額補正。

第5回臨時会

7月25日(月) 1日間

第5回臨時会は7月25日に開催されました。当臨時会は災害対策として発電機や災害備蓄品を購入する必要があるほか、6月の水害により損害を受けた道路や農業用施設などの復旧工事を行う必要があることから招集されたものです。

▽平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について

▽平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について

▽平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について(4件とも全会一致で原案可決)

▽平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について(4件とも全会一致で原案可決)

各特別会計事業について、すでに議会の議決をいただいている平成23年度一般会計からの事業資金繰入額の上限を変更する必要から地方財政法第6条の規定により議決を求めるもの。

【繰入額の上限額】特定環境保全公共下

水道事業▼540万5千円の引き上げ、農業集落排水事業▼346万8千円の引き上げ、介護老人保健介護サービス事業▼230万4千円の引き上げ、スキー場事業▼1,295万3千円の引き上げ

▽平成23年度大仙市一般会計補正予算(第6号)(全会一致で原案可決)

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に2億5,456万1千円を追加するもの。

第3回定例会

8月30日(火)～9月15日(木) 17日間

第3回定例会は8月30日に招集され、9月15日までの17日間の会期で行われました。

本会議第1日目に人事案4件、条例案4件、単行案5件、補正予算案5件、平成22年度決算26件が上程され、同日に人事案の4件を同意と決しました。
第2日目には一般質問が行われ、4人が市政全般にわたって市当局の見解をたきました。

第3日目には集中豪雨に伴う災害復旧事業や可搬式ポンプ等の購入費に係る補正予算が追加で提案され、4日目の最終日には平成22年度一般会計と特別会計決算に係る案件の24件を継続審査とし、他の案件は原案可決、同意並びに認定と決し、第3回定例会は閉会しました。

▽峰吉川財産区管理会財産区管理委員の選任について(全会一致で同意)



本会議終了後に放射線測定器の使用方法について受講する議員

歳入▼地方交付税、繰越金、国庫支出金、県支出金等の増額補正。
歳出▼農地農業用施設災害復旧事業費6,387万5千円、道路橋りょう災害復旧事業費3,496万円、農地等災害復旧事業費補助金3,486万2千円、地域職業訓練センター費3,003万6千円、河川災害復旧事業費1,362万7千円、農地農業用施設災害救助扶助費1,410万円、停電対応力強化対策費931万9千円等の増額補正。

・進藤和彦氏(協和峰吉川・新任)

▽人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(全会一致で同意)

- ・菊地 進氏(協和峰吉川・再推薦)
- ・高島亮弘氏(新谷地・新任)
- ・佐藤良幸氏(神宮寺・新任)

▽大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について（賛成多数で原案可決）

地方税法等の一部を改正する法律が6月30日に公布され、一部を除いて同日から施行されたことに伴い一部を改正するもの。市民税については認定NPO法人以外のNPO法人への寄付金についても、当該NPO法人の申し出に基づき、条例において個別に指定することにより個人市民税の寄付金税額控除の対象とするほか、個人市民税の寄付金税額控除の適用下限を現行の5千円から2千円に引き下げるもの。また肉用牛の売却による事業所得に係る市民税の特例については、免税対象飼育牛の売却頭数を年間2千頭から500頭引き上げ、年間1,500頭を超える場合には、その超える部分の所得について免税対象から除外する改正を行った上で、現行24年度までの適用期限を27年度まで延長するものなど。

◆反対討論【佐藤文字議員】

反対理由▽上場株式等の配当所得、譲渡所得への軽減税率2年の延長は担税力のある一部の資産家を優遇するもので認められない。また申告漏れの罰則強化は人権無視の税務調査や差押えなどが広がるおそれがある。

▽大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について（賛成多数で原案可決）

大沢郷世代交流福祉館が地震等により壁面が損傷し、利用者の安全を確保できない状態となり5月から休館しておりますが、施設の老朽化も激しいこと、また、

近隣の公共施設等の利用も可能であることから、同館を廃止するもの。

◆反対討論【佐藤文字議員】

反対理由▽老人の孤独死が社会問題になる中、老人憩いの家が果たしている役割は重要である。憩いの場、語らいの場を通じて高齢者の心身の健康を守る保障を高齢者福祉行政の責任で充実すべきであり、有効活用されるよう望むものである。

▽市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の変更について（全会一致で同意）

本年第1回定例会において議決を得た市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約について、橋桁の架設工法を変更したことに伴い、契約金額を減額するもの。

契約金額の変更▽1億5,130万5千円↓1億5,100万1,550円（30万3,450円の減額）

主な変更内容▽①桁架設工法の変更
②橋台桁受部塗装の施工



桁架設工法が変更され実施された
市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事

▽平成23年度大仙市一般会計補正予算（第7号）（全会一致で原案可決）

【主な内容】歳入歳出予算の総額に1億2,778万7千円を追加するもの。

歳入▽地方交付税、繰越金、財産収入、国庫支出金、県支出金の増額補正等。

歳出▽市道の除排雪に係る経費6億8,525万7千円、日本脳炎、麻疹風しんワクチン接種に係る経費8,866万5千円、嶽の湯の新たな温泉源確保に係る工事費6,123万6千円、（仮称）

西仙北児童クラブの新築工事に係る経費3,160万円、道路台帳作成に係る経費2,637万8千円、県営土地改良事業費の増額に伴う負担金2,079万2

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

決算（平成22年度一般会計等）

公共施設運営改善等調査

設置

特別委員会

今期定例会では「決算特別委員会」と「公共施設運営改善等調査特別委員会」の2つの特別委員会が設置されました。

「決算特別委員会」は毎年、第3回定例会で議案が提出される前年度一般会計及び特別会計決算の認定について、定例会閉会後となる11月上旬に審査するため

に設置するもので、委員には議長と監査委員を除く27名を選任し、委員長には高橋幸晴議員、副委員長には藤田君雄議員

が選任されております。

「公共施設運営改善等調査特別委員会」は、第三セクター及び指定管理の温泉保養施設をはじめとする市の各公共施設の

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。

千円、高齢者等除雪サービス事業に係る経費1,584万円の増額補正等。



だいせんの会

佐藤 芳雄 議員

Q 南外統合小学校の危険な
通学路の改修は

A 改修に向け、秋田県に
要望している

質問 現在の狭く危険な通学路の改修等を早急に検討すべきと考えるが。

教育長 南橋岡小学校周辺の市道2路線については除雪対策を関係部署にお願いしております。入口の主要地方道の急カーブ改修につきましても改修に向け要望しているところであり、この進行状況に合わせ、市道の改修事業を計画していきたいと考えます。

質問 西小地区の児童は全員がスクールバス通学になるのか。

教育長 支援対象は通学距離4km以上の児童となっておりますが、集落連担地区であることを考慮して若干短い児童に対しても柔軟に対応していきたいと考えております。

質問 統合により廃校となる校舎等の利用方法は。

教育長 南外地域協議会において地域住民、地元自治

質問 廃校される学校の閉校式の進め方は。

教育長 式典の進め方については教育委員会が各学校と調整を取りながら主導することとしており、閉校記念事業についてはPTAなど保護者や学校関係者で組織する実行委員会を中心に進めていただいております。

質問 市民の行政参加について、教育委員会ではどのように考えているのか。

教育長 今後とも積極的に情報発信しながら、地域づくりで先進的な活動を展開している団体等の事例を紹介するなど、ボランティアや地域のリーダー育成など社会教育施設を核とし、自治意識の向上、自治会の地域課題解決のための講座の拡充をして参りたいと考えます。

質問 職員の能力開発について「質問も行いました。」

市長 地域自治区や地域協議会の設置、地域枠予算

の創設、自治会育成や町内集落会館整備に対する支援等を行ってきたところで、特に地域枠予算については多くの活用をいただいております。こうした取り組みは市民の自治意識の醸成に一定の成果を上げることができたと思っております。

質問 市民の行政参加について、教育委員会ではどのように考えているのか。

教育長 今後とも積極的に情報発信しながら、地域づくりで先進的な活動を展開している団体等の事例を紹介するなど、ボランティアや地域のリーダー育成など社会教育施設を核とし、自治意識の向上、自治会の地域課題解決のための講座の拡充をして参りたいと考えます。

質問 職員の能力開発について「質問も行いました。」

市長 地域自治区や地域協議会の設置、地域枠予算

一般質問



大地の会

石塚 柏 議員

Q 洪水時の対応は

A 概ね計画どおりに
対応できた

質問 災害時には市民との協働が大切と考えるが、6月24日の洪水時にはどのような対応が行われたのか。

市長 繰り返す水害については、毎年、見直しを図りながら「大仙市水防計画」を策定しているところであり、同日の集中豪雨時の全体的な対応については概ね計画どおりに対応できたものと考えます。

質問 自主防災組織の対象者はどのように組織化するのか。

市長 町内会や自治会等をベースにしながら、自主防災組織としての適正規模や地域の事情等を勘案・研究しながら育成して参りたいと考えます。

質問 自主防災組織の対象者はどのように組織化するのか。

市長 町内会や自治会等をベースにしながら、自主防災組織としての適正規模や地域の事情等を勘案・研究しながら育成して参りたいと考えます。

質問 災害時の国・秋田県・大仙市の情報の連携について、特に事後の対策に役立てるための情

報交換が必要であると考えるが。

市長 水防計画に規定しております関係機関系統図や雄物川上流、玉川の洪水予報伝達系図、水防警報、避難判断水位到達の伝達系統により秋田氣象台、湯沢河川国道事務所、秋田県河川砂防課、仙北地域振興局建設部、広域消防本部、水防団及びN-T-T、東北電力等との連携保持に努めているところです。

質問 市街地はどの程度の洪水を想定しているのか。

市長 現在、丸子川流域に設置してある水位観測所については、河川管理者が基準水位を「水防団待機水位・氾濫注意水位・避難判断水位・氾濫危険水位」の4段階に設定しており、その判断基準に基づいて警戒体制を確立しております。

質問 これまで基準の見直しも含め、今後の水位の管理をどうするのか。

市長 6月の水害では短時間での大雨という状況のもと、予想を上回る速度で水位が上昇したことにより対応の遅れが生じたところですので、その点を踏まえ8月の集中豪雨の際には設定されている水位基準から大幅に引き下げて自主的に水防警戒にあたってまいります。

質問 内水排除の常設ポンプ、2級河川の常設ポンプの設置に係る補助制度はどうなっているのか。

市長 県と地方公共団体が連携して実施する総合内水対策緊急事業があります。早急に対策を講じる必要性があったことから、被害の大きかった地区2箇所の常設ポンプ場の排水能力強化に係る改修工事費について、市単独予算による予算の補正をお願いしているところですので。

一般質問

4人の議員が市政全般にわたり市当局の
見解をいただきました。



大地の会
大野忠夫 議員

Q 地域防災計画は何を課題と
捉えて対応したのか

A 甚大な被害を受けた場合の
後方支援など

質問 大仙市地域防災計画に平成7年阪神・淡路大震災、16年新潟地震を教訓に改正したとあるが、何をどう教訓化し課題と捉え、対応したのか。

市長 津波が本県の日本海側に押し寄せ、沿岸部都市が甚大な被害を受けた場合における、その後方支援の要領や自衛隊、消防緊急援助隊及び警察応援隊等の展開場所、実働部隊等の受け入れ体制、緊急物資の集積場所等の確保やボランティアのコーディネートなどの項目については、大変重要な課題と考えており、こうした点にも配慮して今後の見直し作業を本格的に進めて参る所存であります。

福島原発事故について

質問 非核平和宣言都市としてどのように分析するのか

市長 核爆発と原発事故とは根本的に異なる考えに立っています。

質問 大仙市の風評被害の現状と対策は。

市長 ホウレンソウや小松菜などの販売に影響が及んだとのことでありましたが、その後の秋田県による農作物の安全確認調査やJ A秋田おぼこによる放射線量調査などで安全性が確認されたこと

から、市場も落ち着きを取り戻し、現在は大きな風評被害はないとのことであります。

質問 原発のあるべき姿と代替エネルギーの必要性については。

市長 福島第一原子力発電所の事故は、被災地域や東北のみならず、我が国全体に深刻な影響を及ぼすに至っており、改めて原子力の恐ろしさを認識させられたところであり、原子力発電所の事故を鑑みるに、人類が完全にコントロールすることが出来ていない原子力に電力を依存することは、本来あるべき姿ではないと考えております。

市長 6月24日の水害に



日本共産党
佐藤文子 議員

Q 放射線量の調査結果の
公表を望むが

A 市広報及びホームページ
で分かりやすく公表する

質問 学校、幼稚園、保育園、通学路、公園、側溝など、子供が近づく場所の緻密な放射線量の調査をはじめ、市民への分かりやすい調査結果の公表を望むが。

市長 9月に納品されたチェコ共和国製の携帯型放射線量・成分測定装置2台を活用し、子供が活動する場所等の空間放射線量の測定を継続的に行う予定であります。また測定結果は市広報及びホームページを活用し、正確かつ分かり易く公表して参ります。

質問 学校給食の食材は汚染ゼロのものを使用するよう、放射線量調査や食材の選定など、安全対策の強化をすべきと考えるが。

市長 各納入業者からは可能な限り地元産、県内産を使用しておりますが、県内産が不足する食

材については、市場で流通している県外産の中から安全性が確認できる食材だけを提供しております。

質問 放射能汚染への不安を取り除くため、妊婦検診、乳幼児健診時の母乳や尿中放射物質検査など行う必要があると思うが。

市長 母乳や尿中の放射物質検査については、国や県が体制と設備を整備することが肝要と考えますので、国、県に対し早急に要望して参りたいと存じます。

質問 改定介護保険法を受け、介護予防・日常生活支援総合事業の実施を考えているのかどうか。

市長 大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事業計画策定委員会において、平成24年度から3年間の介護サービス見込み量の算定や施設の整備計画、介護保険

料基準額算定等の案件と合わせて検討中であり、12月中にはその結果をお示しできるものと考えております。

質問 従来のサービスの質・量の保障とともに、利用者の負担増とならないよう求めるが。

市長 従来の利用者負担の仕組みを維持しながら、予防サービスやそれ以外の生活支援サービスの質の低下を招くことなく必要なサービスが提供されるよう、対応して参ります。

質問 老人憩いの家は、次々と廃止されたが、近隣公共施設は、憩いの家の代替機能を果たしているのか。

市長 利用者数の減少に歯止めがかからない施設は、地域の類似公共施設との兼ね合いの中で処遇を考えざるを得ませんが、こうした施設は地域のコミュニティ機能を併せ持つていることから、世代交流福祉館の代替機能は果たし得るものと考えております。

高齢者福祉について

質問 改定介護保険法を受け、介護予防・日常生活支援総合事業の実施を考えているのかどうか。

市長 大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事業計画策定委員会において、平成24年度から3年間の介護サービス見込み量の算定や施設の整備計画、介護保険

料基準額算定等の案件と合わせて検討中であり、12月中にはその結果をお示しできるものと考えております。

質問 老人憩いの家は、次々と廃止されたが、近隣公共施設は、憩いの家の代替機能を果たしているのか。

市長 利用者数の減少に歯止めがかからない施設は、地域の類似公共施設との兼ね合いの中で処遇を考えざるを得ませんが、こうした施設は地域のコミュニティ機能を併せ持つていることから、世代交流福祉館の代替機能は果たし得るものと考えております。

「大仙市議会基本条例」を制定

大仙市議会では、平成22年12月に議会基本条例特別委員会（藤井春雄委員長）を設置し、16回にわたる委員会での調査・検討を重ね、また条例素案への市民からの意見募集と住民説明会の開催、市当局との協議を経て「大仙市議会基本条例（案）」を児玉議長に9月8日に提出しました。

これにより、第3回定例会4日目（9月15日）に同議案が上程後、全会一致で可決され、9月20日に公布、10月1日から条例を施行しております。

◆議会基本条例とは

議会基本条例は、議会の運営をどのように行うのかを定めた条例です。

市政の情報公開と市民参加を基本とし、議会・議員活動の活性化と充実を図るため、その必要な議会運営の基本事項を定めております。

これにより、市民が安心して生活できる豊かな大仙市のまちづくりを実現することを目的としております。

さらに、基本条例は、議会における最高規範であると定めております。

◆条例制定による

市民への関わり

議会は、市民を代表する議決機関であることを常に自覚し、市民への説明責任に努めるため、情報公開の徹底と市民にわかりやすい議会運営に努めるとともに、新たに市政懇談会を年1回以上開催して、市民との意見交換の機会を設けます。

また、条例の見直しなどを義務づけし、不断の議会改革に努めることとしております。

◆大仙市議会

基本条例の概要

【前文（条例の理念・趣旨）】

日本国憲法において、「地方公共団体の長、その議会の議員及び法律の定めその他の官吏は、その地方公共団体の住民が、直接これを選挙する。」と定められ、市長と議会は市民の直接選挙により選ばれ、ともに市民を代表する二元代表制となっております。これに基づき、市長を執行機関、議会を議決機関として独立、対等の機関とし、また議会には、政策決定と執行機関に対する監視・評価の機能を果たす使命が課せられています。

地方自治の本旨は、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることを基本とし、国と地方公共団体が分担すべき役割の明確化と、地方公共団体の自主性と自立性を高めることが基本理念となっております。これにより地方公共団体は、自らの判断と責任において行政を運営し、議会には、市民を代表しての自己決定とそれによる自己責任が求められ、議決機関として将来にわたる責務を果たさなければなりません。

大仙市議会は、このような使命と責務を重く受け止め、議会は主権者である市民の代表機関であることを常に自覚し、市民との協調と協働のもと、自立する地方公共団体の確立に向け、議員間の自由かつ達な討議を重んじ、不断の議会改革に努めることを決意し、議会の最高規範として議会基本条例をここに制定します。

第一章 総 則

目 的（第1条）

議会、議員の活動と議会運営の基本事項を定め、「市民が安心して生活できる豊かな大仙市のまちづくり」を実現します。

第二章

議会及び議員活動の原則

議会の活動原則（第2条）

執行機関の事務への監視と評価機能を果たし、政策立案と提言に努めます。

・市民の意見などを把握して、市民や議会活動へ反映させ、市民への説明責任を果たします。
 ・従来の申し合わせ事項については、見直しを行います。

議員の活動原則（第3条）

・議員相互間の自由な討議を重んじ、市民の代表としてふさわしい活動と調査研究に努めます。

・市民全体の代表者であることを常に認識するとともに、議員活動の市民への説明責任を果たします。

会 派（第4条）

・会派は同一理念を共有する議員で構成します。

第三章

市民と議会との関係

市民参加及び市民との連携（第5条）

・市民への情報公開の徹底を図るため、会議の原則公開と公聴会制度などを活用します。

・請願や陳情者からの意見聴取や市民との意見交換の場を設けることができます。

情報公開及び議会広報の充実（第6条）

・情報は常時公開し、議会広報活動の充実と議事録の速やかな作成に努めます。

市政懇談会（第7条）

・議員と市民との情報と意見を交換する機会として、市政懇談会を年1回以上開催します。

第四章

市長等と議会との関係

市長等との関係（第8条）

・本会議での質疑応答を一问一答方式で行うことと、市長等への反問権を認めます。

・市長等への文書質問を行うことができ、これを原則公開します。

市長による政策等の形成過程の説明（第9条）

・政策などの形成過程を明らかにした説明による審議と、執行後の政策評価に資する審議に努めます。

市民に開かれた議会に向け、

- ・予算や決算、予算編成方針について、市長からの説明を求めます。
- ・**計画等の議決事項**（第10条）
- ・基本構想と基本計画、さらに重要な計画などを議決事項に新たに定めま

- ・他団体との提携のうち予算が伴うものも議決事項にします。
- ・公開の場において論点などを明確にした議論を行い、計画などの透明性と議会の責任を明確にします。
- ・議決事項は、議会と市長等が協議のうえ決定します。

- ・自由討議による合意形成（第11条）
- ・議会は、議員相互間の自由討議を中心に運営し、議員相互間の議論を尽くして合意形成に努めます。
- ・**議員全員協議会**（第12条）
- ・議員全員協議会は、議会の合意形成を図るときや、政策立案、政策提言を推進するため政策討論を行う場として開催できます。
- ・議員全員協議会は、本会議や委員会と同様の正規の会議として位置付けます。
- ・**委員会の活動**（第13条）
- ・委員会は、調査研究活動の充実と強化を図り、市民への情報公開と説明に努めます。

第五章 議会運営の原則



「大仙市議会基本条例（案）」を9月8日に児玉議長へ提出する
大仙市議会基本条例特別委員会（藤井春雄委員長）

- ・各地域でも委員会を開催できます。

第六章 議会及び議会事務局の体制整備

- ・**議員研修の充実強化**（第14条）
- ・議会は、議員の政策形成と立案能力の向上に向けた研修機能を充実させます。
- ・専門分野の方や市民との意見交換ができる研修会を開催できます。
- ・**交流及び連携の推進**（第15条）
- ・議会は、他の自治体と政策や議会運営などについて意見交換を行い、政策立案や議会運営等の充実に努めます。
- ・**政務調査費**（第16条）
- ・条例規定を遵守し、透明性の確保のため調査報告書と領収書を含めた使途などの公開を行います。
- ・**議会事務局の体制整備**（第17条）
- ・事務局の調査と法務機能の充実強化、職員配置や専門能力の養成に努めます。
- ・**議会図書室**（第18条）
- ・調査研究に役立つ図書の充実に努めます。

第七章 議員の政治倫理、身分・待遇

- ・**議員の政治倫理**（第19条）
- ・市民の代表としての倫理義務を自覚し、市民から信頼される議員を目指します。
- ・**議員定数**（第20条）
- ・定数の改正は、行財政改革の側面だけでなく、市政の現状や将来展望などを踏まえて総合的に検討します。
- ・**議員報酬**（第21条）
- ・報酬の改正は、行財政改革の側面だけでなく、市政の現状や将来展望などを踏まえて総合的に検討します。
- ・一般選挙の改選後に速やかに検討します。

- ・**見直し手続**（第24条）
- ・一般選挙後に条例の目的達成の検討を行います。
- ・条例改正時には透明性と説明責任に努めます。

議会基本条例特別委員会
委員長 藤井春雄 副委員長 後藤健
委員 茂木 隆、石塚 柏、金谷道男、武田 隆、佐藤芳雄、高橋幸晴、藤田君雄

- ・望などを踏まえて検討します。
- ・一般選挙の改選後に速やかに検討します。

第八章 議会改革

- ・**議会改革**（第22条）
- ・不断の議会改革に取り組み、議会改革推進会議を設置して、その調査を行います。

第九章 最高規範性及び見直し手続

- ・**最高規範性**（第23条）
- ・議会基本条例が大仙市議会における最高規範であることを定めます。
- ・一般選挙後に条例の研修を行います。

- ・**見直し手続**（第24条）
- ・一般選挙後に条例の目的達成の検討を行います。
- ・条例改正時には透明性と説明責任に努めます。

先進地に学ぶ!

7・8月に各常任委員会と議会運営委員会が視察研修を行いました。この度、視察研修レポートが提出されましたので、ご報告いたします。

◆総務民生常任委員会

7月26日から28日の日程で、「環境モデル都市」長野県飯田市と、「危機管理」を重点プランに掲げている長野県松本市を視察しました。

飯田市では、①一般住宅（補助制度あり）や公共施設へ太陽光発電装置を設置する「太陽光市民共同発電」の促進。②中学校、一般住宅及び公共施設等に、ペレットストーブやペレットボイラーの導入を促進する「木質ペレットの利用拡大」。③地元企業と、低価格のLED防犯灯を共同開発し、市内の防犯灯3千本をLED化する「産業



飯田市役所内で説明を受けた
総務民生常任委員

界との連携」など、自然にあるエネルギー、日光・森・水を最大活用し、またそれを市民の生活向上のための事業展開につなげていきました。

このように飯田市は、各部門・各事業すべてを環境対策とリンクさせることによって、市民の

心の豊かさ、経済の発展・活性化を追求し、前進し続けている市であると実感いたしました。

次の研修地、松本市は、三つの行政重点プランの一つに「危機管理」を掲げており、「安全・安心のまちプロジェクト」の中で防災関連事業が展開されておりました。同市は、災害時の被害を最小限に食い止めるため、減災対策を充実させるため、地域ぐるみの危機管理を防災対策の柱と位置付け、共助を中心に、自主防災組織活性化に取り組んでおりました。

特徴的な取り組みとしては、防災と福祉が連携し、災害時の要援護者に対し、災害時の安否確認や初期段階での救助・支援が出来る体制を整えるための「登録制度」の実施や、全域を網羅した「防災マップ」の他に、地区別に危険箇所を記載した

「ハザードマップ」を作成するなど、きめ細かな事業も展開しておりました。

このように松本市は、危機管理に対して徹底的なこだわりを持ち、そして実践している市であると感ぜられました。

（委員長 武田隆）

◆企画産業常任委員会

7月26日から28日にかけて石川県庁、北陸農政局（財）いわかわ農業人材機構、（株）御祓川を視察しました。

石川県庁では佐藤農林水産部長、北陸農政局では角田局長に時間を頂き、石川県では農産物の高級ブランド化「ぶどうの「ルビーロマン」、牛の「能登牛」に力を入れていること、北陸農政局管内では戸別所得補償制度の参加率が高く、新規需要米や麦、大豆の生産が増えてきていること等の話を聞く機会が持てたことは大変貴重でありました。

続いて視察した（財）いわかわ農業人材機構は、農業者育成から営農相談など、農業に関するあらゆるニーズに応える総合窓口として、県や地元自治体・農協等が共同で平成21年に設立したものであります。機構が運営する「いしかわ耕稼塾」では、新規就農を目指す受講生に対し、それぞれ1年間開講する予科・本科・実践科・専科において達成段階に応じてきめ細やかな指導を行っており、それまで年間



角田北陸農政局長から説明を受けた
企画産業常任委員

30名前後であった新規就農者数も平成21年には87名、22年には84名となるなど、大きな成果を挙げており、若い受講生が活き活きと農作業に打ち込む姿も見られました。

（株）御祓川（みそぎがわ）は、汚濁が進んだ川の再生と、併せて地域振興を行おうと地元有志の投資により設立されたまちづくり会社であります。平成11年に川の浄化に関する事業からスタートし、現在では七尾の伝統的な風習である「花嫁のれん」にまつわる話を商店街で聞くことができる観光プラン「語り部めぐり」、大学生を3箇月・1年間、地元企業にインターンシップさせる「能登留学」等、斬新なアイデアによる事業を展開し、市の観光課や商工会議所等、多様な主体が関わるまちづくりのコーディネーターとして大きな役割を發揮しております

◆教育福祉常任委員会

7月26日から28日にかけて、島根県益田市と山口県萩市を行政視察しました。

た。このような創意工夫によるまちづくりを大仙市でも見習っていきたいと感じたところでありました。

（委員長 橋村誠）

益田市では、「地域医療対策」について視察しました。同市では、医師不足が進み、平成20年11月からは里帰り出産が休止になるなど、地域医療の崩壊が大変深刻なようです。市では地域医療対策室を設け、議会では特別委員会を設置し、市民は「益田の医療を守る市民の会」を作り地域医療対策に取り組んでいました。市の主な施策として、救急医療を「守る」ということで開業医との連携による休日応急診療制度や電話で相談できる24時間健康ダイヤル事業を行い、「招く」ということで医療関係者をいろいろな形で市へ呼び込むことを行っていました。「学ぶ」では住民を対象にした医療の現状の説明会や地域医療を考える会を行い、医療関係者を「育てる」ために医学部や看護科への市長推薦や奨学金制度、医学生や看護学生との意見交換会等を行っていました。市民の会では、医療の現状を市民に周知し、安心して市民が暮らせることと医療従事者が働きやすい環境とともに作るため、病院や医師と



萩市で質問を行う教育福祉常任委員

の懇談会・講演会、啓発活動を行って行っていました。議会では医療推進条例を議員提案で制定しており、地域課題を調査・研究し、その結果により行動している益田市の議会活動は大変参考になりました。われわれ議会としても、地域医療のあるべき姿や健康づくりに取り組む必要を感じてきました。

萩市では、「文化財の維持と管理」について視察しました。同市は、江戸時代の道路や町の形が現代に残っていることなどを活かして、市全体を屋根のない博物館に見立てた「萩まちじゅう博物館構想」をまちづくりの中心にすえて、文化財の継承、保存とそれを観光に結び付けていました。萩市でも課題としていましたが、文化財の保存・活用は市民との連携を密にし、指定になっていない有形無形の文化財や遺跡等の調査発掘も必

要と感じてきました。

(委員長 金谷道男)

◆建設水道常任委員会

8月2日から4日にかけて、京都府亀岡市と滋賀県彦根市を視察しました。

亀岡市では木造住宅耐震化促進事業について調査をしました。同市は平成7年の阪神・淡路大震災で多くの尊い命が奪われ、地震による直接的な死者の約9割が住宅・建築物の倒壊によるものでした。このとき倒壊した住宅・建築物の多くは昭和56年以前に建設されており、新耐震基準に適合していないもので、亀岡市やその周辺にも強い地震を起す可能性のある断層が多く存在しており、早急に建築物の耐震化を進め、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進する必要がありますことから事業が開始されました。中でも木造住宅耐震診断士派遣制度は一戸あたり4万8千円の経費がかかりますが、自己負担金はわずか3千円でした。また、木造住宅耐震改修費補助制度の課題として平成27年度末までの目標達成に必要な数は2,610戸としておりますが、これまでの3年間で15戸の実績であり、今後の5年間で残りの2,595戸は財政的にも困難であり、専門家の無料診断等を拡大し、目標値に近づけるよう努力したいとのことでした。



彦根駅前前で説明を受ける建設水道常任委員

彦根市では、駅東土地地区画整理事業について調査しました。同事業地区は彦根市の中心市街地で、彦根駅の東側に隣接する立地条件がありながら、彦根駅の東口が未開発で、無秩序な開発が進む地域となりつつあるため、彦根駅東口開設計画に併せ、魅力あるまちづくりを目指すために事業を展開しているもの。施行面積は17.7ha、事業期間は平成11年度から平成25年度までの15年間。総事業費は103億7,600万円で計画されております。完成後はJR彦根駅へのアクセスが改善され、多様な都市サービス機能を提供できる魅力ある市街地の形成と良好な居住環境になります。

委員からは活発な質問や意見交換がなされ、当市の今後の事業の参考となる貴重な事例を研修できました。

(委員長 佐藤芳雄)

◆議会運営委員会

7月5日から7日にかけて福井県越前市と滋賀県長浜市を視察しました。

越前市では議会基本条例制定後の議会運営の改革への取り組みに関する事項、市民と議会の語る会に関する事項及び議会報の編集に関する事項についての3項目について調査を行いました。

議会基本条例制定後の議会運営の改革への取り組みに関する事項については、議員定数の削減について自由討議を行ったところ、初めて熱を帯びた討議の内容となった。また、正副議長の選挙を行う際に議場で所信表明演説をすることになり、市民にわかりやすくなった。政務調査費の情報公開は議員1人月額6万円を会派に交付していたが、会派全体への交付は不透明というところもあり、議員個人が使用したものは個人が責任を持って市民に公開すべきとのことから個人に交付するように変更をしているようです。

長浜市では本会議の生中継、録画中継、ホームページへの議員の出欠状況の記載、及び議会報の編集に関する事項の3点を調査しました。

長浜市の本会議場の傍聴席は4階にあり、バリアフリー対応となっていないことから、高齢者や身体の不自由な皆さんの傍聴が困難な状況にあり、平成17年12月から議会映像配信システムを導入し、市政運営にかかわる審議状況を広く公開することとなり、本会議の内容をインターネットや有線放送で生中継と録画中継で配信しているものです。特に録画映像は見たいときに見たい部分のビデオが見られ市民からも好評とのことでした。ホームページへの議員の出欠状況の記載は、本会議や委員会を欠席する議員が増えたことから平成21年1月からホームページで公開しているもので、表示方法は出席が「○」、欠席の場合は「×」で理由も、「病气」「冠婚葬祭」「その他」など記載しているものです。

両市ともに活発な意見交換がなされ、今後の議会運営の参考となる貴重な事例を研修することができました。

(委員長 佐藤隆盛)



長浜市で説明を受ける議会運営委員

総務民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案1件、補正予算案3件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案の「大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について」は、不申告に係わる過料の引き上げや上場株式配当所得に対する軽減税率の延長などが主な内容ですが、「担税力のある一部資産家を優遇するものであることや、納税者への罰則強化につながることから反対する。」との討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。一般会計補正予算では、6月24日の集中豪雨により特に浸水が多かった福見町地内への常設排水ポンプの設置や可搬式排水ポンプ及び自家発電機機の購入、家庭用LED照明の購入補助など、また、国民健康保険事業特別会計補正予算では、太田国民健康保険診療所の改修工事と胃カメラの購入が主な内容でありました。

また、閉会中の継続審査となっていた陳情第29号「後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の採択を求めることについて」は賛成多数により、陳情第33号「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書の採択等を求めることについて」は出席委員の一致により、いずれも「採択すべきもの」と決しました。(委員長 武田 隆)

企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案2件、補正予算案1件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。条例案「大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について」は、国が家畜導入事業から撤退したことにより、当該基金に積み立てていた国の交付金相当分を国に返還することから基金の額を改めるもの。「大仙市公設小売市場の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例



ドッグラン施設が整備される太田ふれあいの里

の制定について」は、市街地再開発事業の施行区域内に位置する同施設を権利変換のうえ取り壊すことから、同条例を廃止するもの。補正予算案「平成23年度大仙市一般会計補正予算(第7号)」には、ご寄附頂いたふるさと納税を活用する初めての事業として市内小中学校38校に「ふるさと納税文庫」を整備する「ふるさと応援基金活用事業費」、県が運営するあきた結婚支援センターと連携しながら、市内の独身男女の出会いと結婚を支援するイベントを行う「むすび・サポート事業費」、太田ふれあいの里内のテニスコートを改修しドッグラン施設を整備する「太田ふれあいの里管理費」などがありました。請願「米の先物取引試験上場の中止を求めることについて」は願意を妥当と認め、採択すべきものと決しました。(委員長 橋村 誠)

教育福祉常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、単行案3件、一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案1件、22年度市立大曲病院事業会計決算1件で、いずれも原案どおり可決または認定すべきものと決しました。「大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について」は、大沢郷世代交流福祉館を廃止するもの。「大曲ファミリースキー場の指定管理者の指定について」は、12月1日から(株)大曲スポーツセンターを新たに指定管理者として指定するものであります。一般会計補正予算は、「こどものえき」認定申請のため公共施設におむつ交換台やベビーキープ等を設置する経費や、西仙北地域統合小学校の開校に併せた(仮称)西仙北児童クラブの新築工事、南外地域小学校の統合に伴う認可保育所の通園バス購入費等、平成17年から平成21年までにワクチン接種の機会を逸した方のための日本脳炎・麻しん風しんワクチン接種に係る経費、大曲ファミリースキー場の指定管理委託料などが主な内容でありました。

また、請願第10号「30人以下学級実現を求める意見書」、請願第11号「義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元を求める意見書」は出席委員の一致により、いずれも「採択すべきもの」と決しました。(委員長 金谷道男)

建設水道常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、単行案3件、一般会計補正予算案2件、特別会計補正予算案2件、平成22年上水道事業会計決算の認定で、いずれも同意、原案どおり可決、認定すべきものと決しました。単行案の市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の変更については、橋桁の架設工法を変更することなどに伴い契約金額を30万3,450円減額して1億5,100万1,550円に変更するもの。一般会計補正予算(第7号)では市道の除排雪に係る経費として6億7,375万7千円の増額補正。道路台帳作成に係る経費として2,637万8千円の増額補正。愛宕下跨線橋落橋防止工事の増工に伴う経費として817万1千円の増額補正等でありました。本会議3日目に追加で提案された一般会計補正予算(第8号)は豪雨災害の復旧に係わるもので、道路橋りょう災害復旧事業費では西仙北地域5カ所、協和地域1カ所、南外地域12カ所、太田地域1カ所の合計19カ所を対象に市道の路肩決壊やのり面崩落に対する復旧事業費として5,018万4千円の増額補正。河川災害復旧事業費では大曲地域2カ所、西仙北地域5カ所、南外地域12カ所の合計19カ所の市管理の護岸決壊等の復旧事業費として4,049万8千円の増額補正等でありました。(委員長 佐藤芳雄)



豪雨により決壊した中仙地域の
「市道ウ石持10号線」

請願・陳情・意見書

【請願】

- ◇30人以下学級実現を求める意見書採択について
提出者＝秋田県教職員組合執行委員長 伊藤正通 他
紹介議員＝藤井春雄・佐藤隆盛 【採 択】
- ◇義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元を求める意見書採択について
提出者＝秋田県教職員組合執行委員長 伊藤正通 他
紹介議員＝藤井春雄・佐藤隆盛 【採 択】
- ◇米の先物取引試験上場の中止を求めることについて
提出者＝秋田県米価対策共闘会議議長 佐藤長右衛門
紹介議員＝佐藤文子 【採 択】
- ◇小平、岩瀬、湯野沢地域の早期堤防構築に関することについて
提出者＝小平、岩瀬、湯野沢地域堤防構築推進委員会 代表 湯野沢集落会長 加藤久雄
紹介議員＝橋本五郎・渡邊秀俊・茂木隆 【採 択】

【陳情】

- ◆後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の採択を求めることについて
提出者＝全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 渡部雅子 他 【採 択】
- ◆地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書の採択等を求めることについて
提出者＝秋田弁護士会 会長 三浦清 【採 択】

【意見書】

- 後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書
- 地方消費税行政充実のための国による支援に関する意見書
- 米の先物取引試験上場の中止を求める意見書
- 30人以下学級実現を求める意見書
- 義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元を求める意見書

※上記の意見書は、大仙市議会常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣はじめ各関係大臣に提出しました。

12月定例会会期のご案内

- 12月5日(月) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
- 12月13日(火) 本会議第2日(一般質問)
- 14日(水) 本会議第3日(一般質問・議案質疑・委員会付託)
- 15日(木)・16日(金) 常任委員会審査
- 21日(水) 本会議第4日(委員長報告・質疑・討論・表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

請願・陳情・意見書の内容については、大仙市議会のホームページからご覧になれます。

議会のうごき

日	内容	日	内容
7月	1日 議会基本条例住民説明会 (神岡・南外地域)	7月	7日 第3回定例会(第2日)・建設水道常任委員会協議会
4日	議員全員協議会	8日	第3回定例会(第3日)・議会運営委員会
5～7日	議会運営委員会行政視察	9・12日	各常任委員会審査
8日	議会運営委員会・議会基本条例特別委員会	13日	議会運営委員会
11日	第4回臨時会・議員全員協議会・議会編集委員会	15日	第3回定例会(第4日)・会派代表者会議
13日	宮崎県西都市議会行政視察 来庁	15日	第3回定例会(第4日)・会派代表者会議
14日	建設水道常任委員会所管事務調査・新潟県村上市議会行政視察来庁	16日	建設水道常任委員会協議会
15日	議会基本条例特別委員会・大仙市・仙北市・美郷町議会議員研修会	26日	建設水道常任委員会協議会
19日	議会運営委員会・山形県西村山地方議長協議会行政視察来庁	28日	議会運営委員会・議員全員協議会
25日	第5回臨時会・会派代表者会議・企画産業常任委員会協議会・議会基本条例特別委員会		
26～28日	総務民生・企画産業・教育福祉常任委員会行政視察		
29日	県南3市議会議長会議		
8月	2～4日 建設水道常任委員会行政視察		
2日	兵庫県丹波市議会行政視察 来庁		
3日	千葉県野田市議会行政視察 来庁・埼玉県松伏町議会行政視察来庁		

摘要	件数	金額
弔慰	0件	0円
慶祝	25件	170,690円
協賛	5件	64,021円
計	30件	234,711円

4日 静岡県長泉町議会行政視察
来庁

5日 議員全員協議会・企業誘致促進議員連盟研修視察

23日 議会運営委員会
30日 第3回定例会(第1日)・議員全員協議会・会派代表者会議・議会基本条例特別委員会

提出された議案と審議結果

(このページのみ適用 ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査)

【第4回 臨時会】 7月11日(1日間)

- 大仙市災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第5号)

【第5回 臨時会】 7月25日(1日間)

- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第6号)
- 平成23年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成23年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市上水道事業会計補正予算(第1号)

【第3回 定例会】 8月30日～9月15日(17日間)

- 峰吉川財産区管理会財産区管理委員の選任について
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(3件)
- 大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公設小売市場の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例の制定について
- 大曲ファミリースキー場の指定管理者の指定について
- 市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の変更について
- 市道の路線の認定及び廃止について
- 平成22年度大仙市上水道事業剰余金の処分について
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第7号)
- 平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 平成22年度大仙市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市老人デイサービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度市立大曲病院事業会計決算の認定について
- 平成22年度大仙市上水道事業会計決算の認定について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第8号)
- 大仙市議会基本条例の制定について

【第6回 臨時会】 10月5日(1日間)

- 中通線新設工事請負契約の変更について
- 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第9号)
- 監査委員の選任について



市民の皆様、晩秋を迎え収穫の秋も終えようとしております。今年は豪雪に始まり東日本大震災、台風、豪雨と大仙市内でも大きな被害が発生いたしました。一日も早い復興を望む所です。

「だいせん市議会だより」第26号をお届けいたします。さて、10月5日の臨時会において新議会報編集委員が担当することになりました。今号は第3回定例会を始め、3回開催された臨時会のほか、議員提案され全会一致で議決された「大仙市議会基本条例」の概要も掲載しております。市民に開かれた議会に向け、地域の要望やご意見をお寄せ頂き、議会報の充実に努力して参りますのでより一層のご愛読をお願いいたします。

編集委員長 小松栄治 記

編集後記